



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年8月9日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長兼経理部長 (氏名) 今田 和孝 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	13,766	6.1	115	△47.8	208	△27.6	125	△48.4
30年3月期第1四半期	12,969	15.8	220	89.1	288	58.8	242	121.6

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 122百万円(△68.1%) 30年3月期第1四半期 383百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	20.73	—
30年3月期第1四半期	40.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	36,410	16,522	44.7
30年3月期	35,378	16,510	46.0

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 16,274百万円 30年3月期 16,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	17.00	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,505	9.5	325	△22.1	478	△17.8	305	△29.4	50.62
通期	60,057	4.5	1,125	19.5	1,420	7.6	822	10.9	136.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期1Q	6,100,503株	30年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	61,869株	30年3月期	60,969株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期1Q	6,039,185株	30年3月期1Q	6,047,823株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループの営業基盤である南九州の経済は、生産活動や消費関連は緩やかな回復基調を維持しているものの、人口減少を背景とした人材確保難と労働単価の上昇による人件費が増加するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー関連商品の販売シェアの拡大に向け、法人顧客の新規開拓や既存顧客に対する増販活動に注力するとともに、平成30年5月からLPガスの集中監視システムの導入を本格的に開始し、業務の効率化とIoT利用による顧客満足度の向上に取り組んでおります。また、「店舗オペレーションの強化」と「お客様との接点強化」による信頼関係の構築に取組みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高はエネルギー関連商品の販売価格が上昇したことにより137億66百万円（前年同四半期比6.1%増）となりましたが、エネルギー関連商品の販売数量の減少に加え、労働コストの上昇により人件費が増加したことなどから、経常利益は2億8百万円（前年同四半期比27.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億25百万円（前年同四半期比48.4%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントの石油部門では、「ENEOSカード」等の積極的な発券活動によるユーザーの囲い込みや、法人顧客の新規獲得強化による燃料油の増販及び油外商品の拡販に努めました。

ガス部門においては、訪問活動による新規顧客の開拓やガス関連商品の提案等によるお客様との関係強化に取り組むとともに、5月からLPガスの集中監視システムの導入を開始し、自動検針による人件費の抑制や配送業務の効率化を進めております。

以上の結果、原油価格やLPガス輸入価格の影響に伴い、エネルギー関連商品の販売価格の上昇が続き、売上高は109億36百万円（前年同四半期比9.5%増）となりましたが、販売数量の減少に加え、収益改善が図れなかったことで、セグメント利益（営業利益）は2億2百万円（前年同四半期比12.0%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントのカルチャー部門では、利便性を考慮した売場レイアウトの変更を実施するとともに、季節に応じた商品を取り出したラインナップを展開することで、お客様の幅広いニーズに合わせた店舗作りに努めました。

自動車部門においては、チラシ等の販促活動や出張展示会の開催による集客を図り、新車販売の増販に努めるとともに、タイヤ販売における新規取引先の開拓と売れ筋商品の販売に注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門では、新築・リフォーム物件の構造見学会や完成見学会、相談会を実施することで集客を図るなど、新規受注獲得に努めました。

以上の結果、カルチャー部門の売上改善が図れなかったこと等により、売上高は16億33百万円（前年同四半期比6.6%減）、セグメント利益（営業利益）は42百万円（前年同四半期比62.2%減）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントの外食部門では、主力形態であるKFCにおいて、5月にKFC花ヶ島店の改装を実施するとともに、コスト管理とオペレーション力の強化に努めました。

ミネラルウォーター部門では、通信販売での購入層を中心としたキャンペーンを実施するなど、宅配売上の強化に努めました。

以上の結果、外食産業の競争激化により、売上高は11億97百万円（前年同四半期比3.3%減）、セグメント利益（営業利益）は43百万円（前年同四半期比31.8%減）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて10億31百万円増加し、364億10百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて10億20百万円増加し、198億88百万円となりました。これは主に、買掛金や未払法人税等が減少した一方、借入金等が増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、165億22百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成30年5月11日発表から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,074,676	6,444,537
受取手形及び売掛金	5,311,229	4,465,720
商品及び製品	2,442,727	2,555,820
仕掛品	2,802	4,602
原材料及び貯蔵品	34,967	35,178
その他	551,618	544,611
貸倒引当金	△80,850	△77,240
流動資産合計	13,337,170	13,973,230
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,768,380	3,993,471
土地	12,034,438	12,034,684
その他(純額)	1,437,303	1,558,630
有形固定資産合計	17,240,122	17,586,785
無形固定資産	219,923	276,549
投資その他の資産		
その他	4,769,441	4,763,092
貸倒引当金	△187,771	△188,953
投資その他の資産合計	4,581,669	4,574,138
固定資産合計	22,041,715	22,437,473
資産合計	35,378,886	36,410,704
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,797,363	1,516,398
短期借入金	4,160,000	4,400,000
1年内返済予定の長期借入金	2,691,831	2,962,000
未払法人税等	310,489	114,130
賞与引当金	262,820	409,770
厚生年金基金解散損失引当金	267,514	267,514
その他	1,897,117	1,784,746
流動負債合計	11,387,135	11,454,559
固定負債		
長期借入金	5,709,989	6,676,689
役員退職慰労引当金	612,300	615,840
その他	1,159,168	1,141,533
固定負債合計	7,481,457	8,434,062
負債合計	18,868,592	19,888,622

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,600	1,646,600
利益剰余金	12,187,971	12,210,489
自己株式	△98,498	△100,333
株主資本合計	15,426,973	15,447,655
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	838,559	824,418
退職給付に係る調整累計額	△2,753	2,011
その他の包括利益累計額合計	835,806	826,430
非支配株主持分	247,514	247,995
純資産合計	16,510,294	16,522,081
負債純資産合計	35,378,886	36,410,704

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	12,969,238	13,766,317
売上原価	10,181,545	11,055,994
売上総利益	2,787,693	2,710,322
販売費及び一般管理費	2,566,817	2,594,944
営業利益	220,875	115,378
営業外収益		
受取利息	792	750
受取配当金	20,991	22,902
受取賃貸料	27,776	31,805
その他	55,974	67,921
営業外収益合計	105,535	123,379
営業外費用		
支払利息	15,587	14,677
賃貸費用	3,044	2,889
固定資産除却損	1,665	10,388
その他	17,897	2,023
営業外費用合計	38,194	29,977
経常利益	288,216	208,779
特別利益		
固定資産売却益	461	125
特別利益合計	461	125
特別損失		
固定資産売却損	800	38
特別損失合計	800	38
税金等調整前四半期純利益	287,877	208,865
法人税、住民税及び事業税	56,842	101,086
法人税等調整額	△26,664	△23,278
法人税等合計	30,178	77,808
四半期純利益	257,699	131,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,159	5,867
親会社株主に帰属する四半期純利益	242,539	125,190

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
四半期純利益	257,699	131,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	111,811	△14,140
退職給付に係る調整額	14,267	5,373
その他の包括利益合計	126,079	△8,767
四半期包括利益	383,778	122,290
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	367,994	115,814
非支配株主に係る四半期包括利益	15,784	6,475

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	9,983,141	1,747,940	1,238,156	12,969,238	—	12,969,238
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,200	35,042	5,899	46,142	△46,142	—
計	9,988,342	1,782,982	1,244,056	13,015,381	△46,142	12,969,238
セグメント利益	230,472	111,612	63,865	405,950	△185,074	220,875

(注) 1. セグメント利益の調整額△185,074千円には、セグメント間取引消去1,295千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△186,369千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,936,013	1,633,256	1,197,047	13,766,317	—	13,766,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,618	23,525	5,381	34,525	△34,525	—
計	10,941,632	1,656,782	1,202,428	13,800,842	△34,525	13,766,317
セグメント利益	202,727	42,159	43,545	288,431	△173,053	115,378

(注) 1. セグメント利益の調整額△173,053千円には、セグメント間取引消去1,182千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△174,236千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。